

指定管理者管理施設の外部評価結果について【対象年度:平成28年度～令和元年度】

評価担当課(施設所管課)	防災局 原子力安全対策課
--------------	--------------

1 施設名等

施設名	新潟県柏崎原子力広報センター	所在地	柏崎市荒浜1丁目3番32号
		電話	0257-22-1896
		ホームページURL	http://www.atomuseum.jp/

2 施設の概要

設置年月	昭和61年4月
設置目的 (主な利用形態・サービス内容等)	原子力発電施設周辺の地域住民をはじめ、広く県民に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行う。

3 指定管理者

指定管理者	公益財団法人 柏崎原子力広報センター
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (5年間)

4 委員

役職	氏名	所属等
会長	桑原 保芳	柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会
社会保険労務士	田川 守	田川労務管理事務所
教授	竹園 恵	新潟工科大学
副所長	千原 美幸	柏崎市立教育センター
統括部長	前田 弘実	株式会社柏崎コミュニティ放送

5 委員会の開催状況

開催年月日	場所	内容
令和2年10月27日	新潟県柏崎原子力広報センター	非公募施設における外部評価

6 労働環境の点検

項目	点検結果、意見
労働条件	(雇用契約書の書式、名称は違うものの)労働条件の決定、変更を通知している。
安全衛生関係	定期健康診断を受診させている。
労働時間管理	就業規則、時間外・休日労働命令簿、出勤簿等で客観的に労働時間が把握できる時間管理を行っている。 アクシデントも考慮し、長岡労基署へ36協定及び1年単位の変形労働時間制に関する協定届提出済
賃金等	賃金台帳作成済(最低賃金クリア) 労働者全員社会保険及び労働保険加入済

7 利用者アンケートの内容や実施方法

実施方法	原子力講座(出前講座)、地域防災研修受講者へのアンケート
回答者数	原子力講座(出前講座): H28 220名、H29 175名、H30 227名、R1 312名 地域防災研修: H28 64名、H29 35名、H30 44名、R1 66名
結果	県の管理運営実績の評価としている受講者の満足度(「良かった」「まあまあ良かった」の全体割合)は、平成28年度の原子力講座(出前講座)を除き90%を超えており、高評価を得ている。
アンケートの内容や実施方法に対する意見	アンケートの意見欄に「難しくわからない」という回答が一定数あるので、そのような回答がなくなるように工夫しながら研修等を実施してもらいたい。

8 県のモニタリング方法及び評価結果に対する意見

項目	意見
利用者意見の把握、苦情への対応	少人数職場であり、実態として誰でも対応できる体制を組んでいるにもかかわらず、県の統一的な評価基準(対応手順、担当者の明確化)によって評価が低くなるのは適切ではないのではないか。

9 評価結果

区分	評価項目	委員会評価	委員会評価の理由
I 事業	利用促進やサービス向上のための取組が行われているか	A	利用者のニーズに合ったもの、回数を計画よりも多く実施することで、サービス向上のための取組が行われている。事業の実施については、コロナ禍での実施であることを考慮した。
II 施設管理	施設、設備及び備品の維持管理・修繕が適切に行われているか	A	施設、設備及び備品の維持管理・修繕が適切に行われている。
III 財務	安定的な運営が行われているか	A	事業に必要なものに支出され、計画どおり運営されている。
IV 管理体制	適切な管理と安全を確保できる組織・体制となっているか	A	各法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がなされている。
V	その他(任意項目)	—	—
総合評価		A	各委員からの評価が全ての区分において「A」評価となったことから、総合評価についても「A」とする。

(総合評価基準)

評定	判定基準
S	全ての項目の評価点数の平均が2.5以上
A	全ての項目の評価点数の平均が1.5以上2.5未満
B	全ての項目の評価点数の平均が0.5以上1.5未満
C	全ての項目の評価点数の平均が0.5未満

10 改善に向けた意見・提案

- ・ 県全体での認知度が低いため、広報施設の存在を広く情報発信できるしくみがあるとよい。
- ・ 研修等の対象について、柏崎・刈羽地域を中心としながらも、県内全域(30km圏内)に広げていくべき。
- ・ ホームページがシンプル過ぎる印象があるので、簡単な放射線の話や原子力発電のしくみ等を紹介するといった工夫があってもよいのではないかと。

(参考) 県の評価状況

区分	評価項目	評価				県評価の理由
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
I 事業	利用促進やサービス向上のための取組が行われているか	A	A	A	A	令和元年度の来館者数については、秋の天候不順と新型コロナウイルス感染症の影響により目標に達しなかったものの、研修事業の満足度評価については目標値を達成した。その他、よりニーズの高い事業の実施回数増等、計画数を上回る実績を残し、サービス向上の取組みに努めている。
II 施設管理	施設、設備及び備品の維持管理・修繕が適切に行われているか	A	A	A	A	施設、設備及び備品は保守点検や日常点検を行い、適切な維持管理に努めている。また、施設の衛生状態は良好である。
III 財務	安定的な運営が行われているか	B	A	A	A	平成28年度に少額ではあるものの、損失を計上。自治体からの委託料については概ね横ばいとなっているが、事業に必要なものに支出され、計画どおり運営されている。
IV 管理体制	適切な管理と安全を確保できる組織・体制となっているか	A	A	A	A	組織体制や人員配置は、財団規程等により適切な管理体制となっている。また、AEDを設置する等、安全対策も実施している。
V	その他(任意項目)	—	—	—	—	—

(評価基準)

評定	判定基準
S (水準を上回る)	各項目の評価点数の平均が2.5以上
A (水準を達成)	各項目の評価点数の平均が1.5以上2.5未満
B (水準をやや下回る)	各項目の評価点数の平均が0.5以上1.5未満
C (水準を下回る)	各項目の評価点数の平均が0.5未満